

低入札価格調査に係るヒアリング議事録

工事名称 沖縄科学技術大学院大学SEA-neXus非常用発電設備設置工事

調査対象業者名 株式会社サン電設 沖縄県うるま市宇前原385番地13

ヒアリング内容 : 当学園契約事務取扱細則第13条第3項第1号 a. に基づくヒアリング

Q1 積算内訳について、安価で積算できた根拠について説明してください。

A1

- ・発電機設備の代理店とは、長年にわたり取引実績があり、信頼関係が構築できていることから調達コストの低減が図れた。
- ・当該建物の新営電気設備工事を当社が施工しており、現地の状況について熟知しており無駄を省いた積算を行う事ができた。
- ・手持ち工事の人員を施工予定時期に継続して運用することが可能であり、作業員等の人員確保に係る費用をかけることなく、工期を遵守した施工ができることからコスト低減が図れた。

Q2 諸経費等は適切に積算されていますか。

A2 適切である。

Q3 手持ち工事状況を説明してください。

A3 6月25日現在、OIST 0 件、公共 3 件(国 1 件、うるま市 2 件)。

Q4 現場施工体制について説明してください。

A4

配置予定技術者の確保状況：確保できている。
労務者の確保：A1のとおり見込んでいる。
現地施工に係る工期の設定状況：余裕を見込んでいる。早ければ8月から一部の配線施工が可能であり余裕を持った工程を見込んでいる。